

はっぽう

議会だより

- 9月定例会ダイジェスト…………… 2ページ
- 決算特別委員会要旨…………… 4ページ
- 決算特別委員会付帯意見…………… 6ページ
- 一般質問 目次…………… 7ページ
- 一般質問…………… 8ページ
- 臨時議会の結果・傍聴に来ませんか…13ページ
- 議会活動の紹介…………… 14ページ



**9月
定例会**

ゴールに向かって！
(八森こども園運動会)

議会活動の紹介

(7月～9月)



8/1 秋田県町村議会議員研修会
全県の議員が一堂に会し研修会を行いました。



8/1 秋田県町村議会広報研修会
よりよい議会だよりにするため、広報編集委員6名で研修を受けてきました。



9/10 教育産業建設常任委員会 現場視察
決算特別委員会で話題となった森林科学館の現場視察を行いました。



9/10 総務民生常任委員会 現場視察
決算特別委員会で話題となった社会福祉協議会の現場視察を行いました。

- 議会広報編集特別委員会
- | | |
|-------|-------------|
| 委員 長 | 門 脇 直 樹 |
| 副委員 長 | 嶋 津 宣 美 |
| 委員 | 山 水 笠 原 吉 範 |
| | 山 本 壽 吉 範 |
| | 優 人 保 範 |

稲の収穫期だが雨が続き、日に寒くなってストーブが欲しい。昨今である。

9月議会は前年の決算を審議する議会であるが、全議案を可決して終えた。一般質問には5名が立った。年4回の機会しかないこの一般質問は議員の一番大切な使命と思っているが、当局から満足する回答を引き出すことは簡単ではない。今秋予定の研修や視察などで更に見聞を広め、グレードアップして残りの任期を全うしたい。

さて、国会は突然の解散総選挙となり、新党への結集や分裂などと、北朝鮮問題より大きく連日ニュースのトップを賑わしている。何を考えどんな国にしたいのか、焦点もよく分からない選挙ではあるが国民の権利を行使していい国にしたい。

(記 嶋津宣美)

編集後記

9月 定例会

ダイジェスト

認定

平成28年度決算を

補正予算

- 物品の取得
 - 物品名 菌生しいたけホダ培
 - 養用コンテナ
 - 金額 1269万5400円
- 契約の相手方
 - 幸和機械株式会社峰
 - 浜営業所
 - 営業所所長 平澤金義
- 平成29年度八峰町一般会計補正予算(第3号)
 - 2億2919万円を追加補正
 - 主な歳出：庁内LGNANメールサーバー構築等に伴う電子計算費、大沢・埴地区のデジ放送共聴施設改修補助金、ふれあい橋さ
- 平成29年度八峰町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)
 - 3759万7千円を追加補正
 - 主な歳出：地域密着型介護予防サービス給付費、過年度精算による国県への償還金や一般会計繰出金などの追加
- 平成29年度八峰町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
 - 1538万5千円を追加補正
 - 主な歳出：水沢橋添架水道管補修工事、簡易水道基金積立金及び消費税納付金の追加
- 平成29年度八峰町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
 - 213万5千円を追加
 - 主な歳出：一般会計への繰出金の追加
- 平成29年度八峰町診療所特別会計補正予算(第2号)
 - 240万円を追加補正
 - 主な歳出：医薬材料費の追加
- 平成29年度八峰町共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
 - 1376万1千円を追加補正
 - 主な歳出：浜田マンホールポンプ制御盤修繕料、八森浄化センター機械・電気設備改築更新工事費及び一般会計への繰出金の追加
- 平成29年度八峰町工業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
 - 56万8千円を追加補正
 - 主な歳出：一般会計への繰出金の追加

9月定例会は9月6日(水)から15日(金)までの10日間開催され、平成28年度一般会計及び特別会計決算や補正予算等が上程されたほか、陳情3件を審議しました。

一般質問では、5人が登壇し、町政をたどりました。



災害復旧関係補正予算が可決(豪雨により氾濫した夏井川)

一般議案

- わめ補修工事費、財政調整基金積立金の追加。
- 平成29年度八峰町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)
 - 4005万4千円を追加補正
 - 主な歳出：基金積立金や過年度精算による国・県への返還金等の追加
- 平成29年度八峰町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)
 - 3759万7千円を追加補正
 - 主な歳出：地域密着型介護予防サービス給付費、過年度精算による国県への償還金や一般会計繰出金などの追加
- 平成29年度八峰町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
 - 1538万5千円を追加補正
 - 主な歳出：水沢橋添架水道管補修工事、簡易水道基金積立金及び消費税納付金の追加
- 平成29年度八峰町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
 - 213万5千円を追加
 - 主な歳出：一般会計への繰出金の追加
- 平成29年度八峰町診療所特別会計補正予算(第2号)
 - 240万円を追加補正
 - 主な歳出：医薬材料費の追加
- 平成29年度八峰町共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
 - 1376万1千円を追加補正
 - 主な歳出：浜田マンホールポンプ制御盤修繕料、八森浄化センター機械・電気設備改築更新工事費及び一般会計への繰出金の追加
- 平成29年度八峰町工業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
 - 56万8千円を追加補正
 - 主な歳出：一般会計への繰出金の追加

陳情

意見書提出についての陳情

(連合秋田能代地域協議会 議長 鎌田守)

内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、総務大臣、内閣府特命担当大臣(経済財政政策担当)、地方創生・国家戦略特別区域担当、経済産業大臣に意見書を提出

● 全国森林環境税の創設に関する意見書採択に関する陳情
(全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣一徳)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、農林水産大臣、環境大臣に意見書を提出

● 共謀罪(組織犯罪処罰法)の廃止を求める

不採択の理由

国際的にテロ等の犯罪が増える中、我が国においてもそれを防止することが重要であると判断したため

※陳情3件とも全会一致で決定しました。

333万6千円の追加補正

主な歳出：豪雨による災害復旧に係る測量設計業務委託料等の追加

(沼田 再任)

なお、議案については全会一致で可決・同意しました。

人事案件

● 八峰町沢目財産区管理委員の選任
小林信夫氏

請願・陳情

採択された陳情

● 地方財政の充実・強化を求める意見書提出

不採択となった陳情

● 共謀罪(組織犯罪処罰法)の廃止を求める

ここが聞きたい!

平成28年度 決算

28年度一般会計及び各種特別会計の決算について、各分科会で審議し、町政全般にわたり数多くの質問が出ました。抜粋してお知らせします。

審査(特別委員会)

質疑



峰浜地区子ども園のあり方が問われる

問 峰浜地区子ども園のあり方検討会の検討内容は。
答 出来るだけ早く統合し、認定こども園へ移行する答申を受けている。現在ある子ども園の改修よりも、峰栄館付近に新設で子ども園を建てる意見が出て

問 ナラ枯れが目立つようになってきているが、どうするの。
答 ナラ枯れは、発生してから3年目が一番拡大すると言われているが、町はその3年目今年になって爆発的に拡大しているが、秋の

教育産業建設 常任委員会

いる。

問 町営住宅の老朽化に伴い修繕費用が増加すると思われるが、今後の対応についてどの様に考えているのか。
答 最も古い住宅は築30年を経過し、あと数年で木造住宅の耐用年

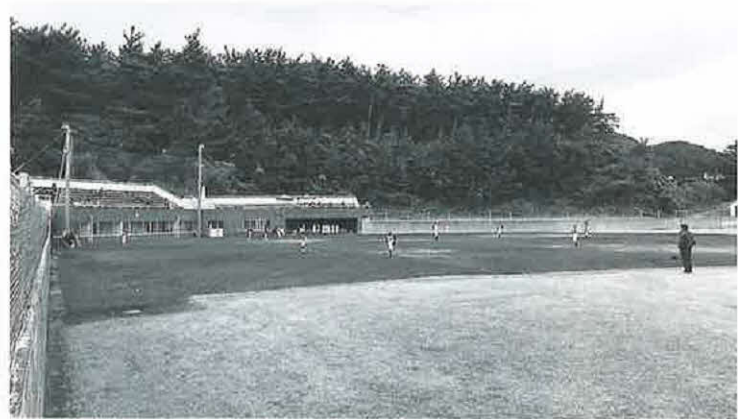
除方法等を検討していきたい。そのためには、ナラ枯れ被害木の所有者特定と、同意が前提となると考えている。

拡大がおさまった頃を見計らって被害状況を取りまとめる予定。ナラ枯れとなった老齢木は切らずに放置しても枯死から10年経過するとナラは再生すると言われており、男鹿市では伐採しないと聞いている。しかし、県からは「防除対策を実施すれば補助金を交付する」と聞いているので、防

問 御所の台野球場については今後どういう方針なのか。使用できるように最小限度の手入れ等が必要なのでは。
答 峰浜野球場があるため御所の台野球場については改修等は行わずグラウンドのメンテナンス等のみを行うこととしている。町の公

共施設等総合管理計画でも「小規模修繕を行

ながら施設を利用していくが、将来的には除却の方向で検討する。」となっている。ただし、サブ球場としての必要性や、利用希望があるため、グラウンドの維持管理についてはきちんと行っている。



利用希望が多い御所の台球場



老朽化の対策は(湯っころんど)

湯っころんど(利用以外の)登録し

問 障がい者の就労支援はどのように行っているか。
答 就労については秋田県能代山本障害者就業・生活支援センターが県より委託を受けて行っており、町と連絡を密にし情報を共有している。年2回の運営協議会により支援学校の卒業生についての進路などが紹介される。またハローワークでは障がい者のための相談にも応じている。



防災無線の放送の様子

問 湯っころんどの使用はどれくらい可能か。
答 ポンプ等の機械関係は5、6年は使用可能と思われるが、建物や屋根などの老朽化等により大規模改修が予想される。今後の判断による。

問 結婚サポーターは町ではなく、県の結婚サポーターなのか。また、効果が現れているのか。
答 秋田県などが設立したあきた結婚支援センターから認定された結婚サポーターである。普段は結婚支援センターからの婚活事業等の連絡を受け、独身者等に参加を促すなどの活動を行っているが、町では結婚サポーターの情報は交換の場を年に一度設けている。登録者は全県で2千人近く登録し

ており希望の相手とのマッチングをしてくるので、これまで1,000人を超える成婚実績がある。ただ、町の登録者は4名のみに留まっているため、登録者を増やす取り組みを考えていきたい。

問 防災無線の利用範囲は。
答 防災に関する情報のほかに、町の行事や関係団体の情報も放送しており、今後もそのように対応していきたい。

問 白神カルチャールームの今後の利用については。
答 秋田市の業者から照会があったが、改修等に費用が掛かるため利用には至らなかった。

ここが聞きたい

ただ 町政を質す!!

5人の議員が一般質問

定例会2日目の一般質問では5名の議員が町政について質問しました。

p 8 柴田 正高 議員

- 1 「公営企業会計」適用について
- 2 石川簡易水道の町営化について

p 9 山本 優人 議員

- 1 空き地等の雑草対策について
- 2 名物食品等の開発・創造について

p10 皆川 鉄也 議員

- 1 人口減少に伴う自治会の在り方について

p11 笠原 吉範 議員

- 1 JR五能線について
- 2 除雪について

p12 嶋津 宣美 議員

- 1 町有地石黒の活用について
- 2 水沢川の水量調節と看板設置について
- 3 公募事項のその後について

一般質問

一般質問とは？

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町政執行における所見や疑義について質問できるものです。

本町では、効率的な議会運営のため質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」とし、議員はその内容に添って質問します。質問時間は1人につき質問答弁を含め55分以内で完了することとしております。再質問からは、一問一答方式が採用されており時間内であれば何度でも再質問ができます。

平成28年度決算審査付帯意見

平成28年一般会計及び特別会計の歳入歳出決算の審査では、議員から様々な意見や要望が提案され、9月15日議会終了後、町長に付帯意見として提出しました。

その付帯意見をご紹介します。

なお、町からの回答については、次号の議会だよりに掲載いたします。

1. 健全な行財政の運営を

平成28年度決算においては、財政健全化の判断指標である「実質公債費比率」「将来負担比率」とも良好な数値であるが、少子高齢化が進展する中多様な住民ニーズに対応した行政施策を行うためには、相当の財源と人材の確保が必要であり、今後普通交付税の算定特例分が段階的に縮小され、厳しい財政状況が続くことから、より一層の効率的な行財政の運営を。

2. 職員数の見直しについて

職員適正化計画により、5人退職につき1名採用という方針によって職員数は確実に減少した。しかし昨今の行政事務をみると、その内容は細分化され複雑になってきており、職員には更なる専門性が必要となっている。一方で、認定こども園などの新たな行政ニーズに対応するための職員の配置も必要とされている。このことから、事務量に見合った職員数の検討が必要では。

3. 給食センターの改築を進めること

給食施設の経年劣化により、給食への安全性が危惧される。衛生管理の行き届いた施設に改築すべきでは。

4. 指名業者の指定基準の再考を

町内業者の減少に伴い町外業者の指名機会が増加している。町財政等に寄与される事業者となるような登録・指名基準の再考を検討をすべき。



より安全で衛生的な給食センターへの改築を

上下水道の企業会計 適用のメリットは

町長 経営成績を的確に把握するため

柴田 町では簡易水道事業、下水道事業に平成32年4月から「公営企業会計」の適用を目指して準備作業を進めているが、この法を適用するメリットがあるのか。

今後の使用料の上げ幅を少しでも低く抑えるためにも、下水道事業加入者を増やす対策を。

町長 法適用により公営企業会計に移行することで、経営成績や財政状況など自らの経営状況がより的確に把握できる。公営企業会計へ移行するための関連経費については、平成27年度から平成31年度までの集中取り組み期間に限り公営企業債の対象とする処置がされ、簡易水道事業及び下水道事業

下水道接続工事実施中ののぼり旗を施工業者に貸与し、近隣住家へ加入を促す目的で工事中期間中現地に掲げている。

石川簡易水道の町営化は

町長 将来的には町営化が望ましい

柴田 町村合併後、石川簡易水道の町営化に向け石川自治会と協議を行ったのか。

町長 町村合併時の引継ぎ事項にもなかったため、これまで協議は行っていない。



石川地区簡易水道の水源

今後、この質問を受けて調査した内容等を精査して方向を決めていきたい。

水道事業は住民生活にとつて最も重要で密着したサービス提供である。全町民が等しく安全安心な水道水の供給を受けるためには、一元管理された同一水準の水質を確保したうえで、安定供給されることが望ましいと考える。将来的には公営化して一本化する方向で考えている。



柴田 正高 議員

隣地の雑草で町民が困っている、対策すべき

町長 全国の対策事例を参考に進め方を研究する



山本 優人 議員

有名人監修で商品開発を

町長 多角的に方法を考え企画する

山本 隣の土地の雑草が茂って蚊や虫などが発生し、困っている町民が多い。相談窓口は何課か。

敷地内に生える雑草を除去せず放置しておくと、景観が悪くなるだけでなく、蚊などの虫が大量発生しやすくなり、近隣住民の方に大変な迷惑がかかる。建物を取り囲むように雑草が生長すると、外からの見通しが悪くなり不審者が侵入しても発見されにくく、野良

猫やアナグマの棲家など周辺の治安・環境を悪化させる原因の一つとなる。

不在所有者の適切な管理を促すために罰則の条文を制定するべきでは。

町長 空き地等のは総務課で対応するが、原則として管理する人が当然やるべきこと。町が勝手に手を付けることは問題があり、管理者に連絡をしてやらなければならない場合手段を講じながら、1回だけでなく何度も連絡する

など勧告する。最後には代執行まで行うことになる。

当町だけではなく全国各地で悩みは同じで、手立てを講じながら進め国の事例を参考しながら進め方を研究していきたい。

山本 町と自治会等の協定で雑草を刈るという取組みも必要ではないか。

町長 地域の中で事情を知っている人が手伝い、解消する方法もある。



管理されていない空き地

山本 八峰町の名産物と云える、お勧めできる料理や商品が少ない。滞在できる施設が少ない町はせめて流入人口を増やすため、道の駅などで手軽に食べられ、安いファーストフード等のB級グルメの開発、創造が必要と考える。

そのために、有名な料理人あるいはパティシエに開発・監修を依頼してホテルや道の駅などで名物料理、スイーツなど提供する取り組みも必要ではないか。

町長 一つのものを作るためには相当の時間、労力、お金、企画など様々な練習が必要。今日考えてすぐに明日できるようなものではない。

田子ののんにくや深浦のマグロステーキ井など、料理人ではなくプロデュースする人もある。取り組んでいる業者からアイデアが出て商品としてヒットするものもある。多角的に方法を考え企画していきたい。

自治会との強力な結びつきを

町長 自治会との連携に努める

皆川 人口減少が始まり、その対策に取り組み、多くの年月を費やし国・県をはじめ町においても移住定住対策・空き家対策・子供を生み育てやすい環境の整備や、

若者の結婚対策など積極的に取り組んでいるが、決め手が無いまま推移している。このことは、自治会や集落までは町内会にも大きな課題となつてのしかかつており、地域での自



地域のつながりを強化（水沢郷中大運動会）

助努力による活動に限界が見えてきている。現状をどのように捉え、どのような対策を考えているのか。

町長 自治会が担ってきた自治活動も多様化し、孤独死の防止や認知症住民の見守り、児童生徒の見守り、空き家空き地の管理など新たな課題が生まれており、医療・介護・教育・交通・災害対応等の分野において役割を増大させていく必要があると考えている。今後も少子高齢化の進行により、自治会活動に支障がでることが想定される。直面する様々な課題の解決策を共に探りつつ、課題解決に向けた施策を立案実行するなど、自治会への支援に努めていく。

皆川 急を要する場面のネットワークがまだしっかりと確立されていない。思い切った、自治会と行政とのあらゆる面

を想像した強力なネットワークを確立すべきでは。日曜・祭日であれば若い人や家族も家や近くにおいて安心だし、消防団や民生委員、役員もいるが、不在時の場合は頼むところは、どうしても行政になると考えられる。

町長 有事の際は自治会長を通して連絡している。職員は職員として各地域別に担当を決めているためその連携をうまくとれば対応できるのではないかと。地域の自治会の中で体制を作っていくことが基本だが、どのような形でやったらいいのか検討する。



皆川 鉄也 議員

通学時間に合わせたダイヤ改正を

町長 現状の利用者数では要望は難しい

笠原 五能線の上り始発列車は、八峰町内通過が高校に通う学生にとっては早すぎるため、保護者が送っていくケースが多く大変な負担となっている。ダイヤ改正の度に早くなり、15年前と比較すると20分余り早くなっている。五能線を利用し通学する学生は深浦町にもおり、保護者や学生も大変苦労している。深浦町と連携を図り、通学時間に合わせたダイヤ改正の要望を。

町長 町から登校する高校生は、奥羽本線を利用する高校生に比べると早い時間に到着するが、その分学習や部活動の自主練習に時間をあてることにもなる。以前は7時台の岩館発の列車もあったが、利用者の減少により廃止された経緯がある。現在ダイヤ改正の要望は寄せられていないが、改善要望が多数寄せられた場合はJRに要望していく。

笠原 公共交通機関が不足している当町にとって、



笠原 吉範 議員

その解消が大きな課題である。「リゾートしらかみ」が周辺人口の多い沢目駅に停車するよう要望を。自由席車両を加えることで、住民の足として使える列車となる。

町長 「リゾートしらかみ」は観光列車として運行されており、観光客の停車を求める需要が多いが、乗降客数の実績などにより停車駅になるかが決まってくる。現状から、沢目駅の利用者数は多くを望めず要望は難しいものと考ええる。

除雪困難世帯に対策を

町長 既存事業で対応していく

笠原 高齢者や体の不自由な方の世帯にとっては、除雪車通過後の敷地前や敷地内の除雪は大きな負担となっている。自治会などと連携を図り、これらの世帯の除雪に対応できるシステムを構築する必要があると考える。

バー人材センター会員が作業にあたっている。もう一つは「八峰町地域支え合い事業」で除雪機を貸し出す事業である。当面は、この二つの事業を推進し対応していく。



貸し出し用除雪機

町長 現在町では、高齢者世帯等の除雪作業を支援する事業として二つの事業がある。一つは「軽度生活援助事業」であり、シル

平成29年7月25日に行われた第3回議会臨時会では次のことが決まりました

一般議案

●工事請負契約の締結（2件）

- ①八峰町未来づくり交付金事業 培養棟建設工事
契約金額 1億4205万2400円
契約の相手方 前田工織株式会社（福井県）
- ②八峰町未来づくり交付金事業 培養棟・倉庫棟建設工事
契約金額 6523万2000円
契約の相手方 株式会社亜久里コネクト農土歌（秋田市）

補正予算

●平成29年度八峰町一般会計補正予算（第2号）

135万4千円を追加補正
歳出の主なもの～ 秋田県消防競技大会派遣費の追加

議会を傍聴しませんか？

次の定例会は、

12月中旬に開会予定です



傍聴の手続きは簡単!!

傍聴席の入り口で、名前と連絡先を書き添えます。団体でいらっしゃる場合は議会事務局までご連絡ください。(電話76-4607)

町有地石黒の木材資源の活用を

町長 路網整備や活用方法を検討する

嶋津 平成27年からボランティアや園芸愛好者が下刈りや間伐を手がける町有地石黒の雑木の森を、町民の活動や環境教育、あるいは白瀑の林道と結んでトレイルができる「町民の森」として活用できないか。また、あきた未来づくり交付金事業でナラの資源調査は実施したのか。

町長 町民からの要望もないことから「町民の森」として整備することは考えていない。また、山歩きのためのトレイルにするには整備に費用も必要となる。ナラの資源量調査は県と町との協働事



町有地石黒

嶋津 将来、菌床材料として山の資源を使って循環産業まで持っていくのはどうか。

町長 資源循環に繋がるとは考えられない。これから頑張っていく。

夏場の水沢川の水量調整は

町長 魚の生息に影響はない

嶋津 今年も水沢川の水量は不足であったが、濁水対策調整会議で話題としたのか。違法な漁法禁止の看板の設置をすることにしてはいたが設置は。

町長 会議で要望は伝えた。かんがい用水の放流はダムが行ったが、魚の生息に影響が出るほどの水不足ではなかった。看板については今秋設置で準備をしている。

旧塙川小学校の利活用のその後は

町長 問い合わせがあったもの具体化はしていない

嶋津 旧塙川小学校の利活用と、町営診療所の常勤医師については現在公募しているが、その反応は。また、トップセールスでは何をされたか。

町長 校舎利用については1件の問い合わせがあった。町内の農家から野菜の加工場や事務所・作業場としての活用の問い合わせもあったが、いずれもまだ具体的な



旧塙川小学校



嶋津 宣美 議員

動きはない。また、常勤医師は確保には至っていません。医師会への要望を続けていく。

トップセールスとしては、生業会社への働きかけや北海道の日本語学校の視察等を行った。